

令和 6 年 2 月 27 日

広島大学原爆放射線医科学研究所 資料展示  
イペの花\*の下の被爆者  
広島県医師会に寄贈された在ブラジル原爆被爆者協会資料の紹介

今回は、2023 年春に広島県医師会が寄贈を受けた在ブラジル原爆被爆者協会資料を展示します。同資料は、既に 2023 年 8 月 6 日より広島県医師会館内の「被爆伝承コーナー」において、「被爆者と医師、太平洋を越えて」と題して現在も資料の一部が展示されています。今回は、広島県医師会の多大なご理解とご協力を頂戴して、そこでは展示されていない資料などを含めて、拡大版の展示を行うこととしました。在ブラジル原爆被爆者協会の資料（在南米原爆被爆者調査書、要望書など）を中心に、広島県医師会、広島大学医学部、原爆放射線医科学研究所など、南米に渡った被爆者についての広島の医師・医学者たちの活動を発信します。

\*イペの花(黄色)…コガネノウゼンとも呼ばれるブラジルの国花。「ブラジルの桜」とも言われ、ブラジルに渡った日本人の励ましとなった花。

1. 場所 広島大学医学部医学資料館（広島市南区）
2. 期間 2024 年 3 月 15 日（金）～5 月 17 日（金）（予定）
3. 開催
  - 1) 主催 広島大学原爆放射線医科学研究所
  - 2) 共催 放射線災害・医科学研究拠点  
（広島大学・長崎大学・福島県立医科大学）
  - 3) 特別協力 広島県医師会
  - 4) 協力 広島大学医学部
  - 5) 企画・運営 広島大学原爆放射線医科学研究所  
附属被ばく資料調査解析部

## 【お問い合わせ先】

原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部  
助教 久保田明子  
TEL:082-257-5877





# イペの花の 下の 被爆者

広島県医師会に寄贈された  
在ブラジル原爆被爆者協会資料の紹介



写真の花が「イペ」です。「コガネノウゼン」とも呼ばれます。いくつかの色の花を持つイペの、特に黄色の花はブラジルの国花です。この花は「ブラジルの桜」とも呼ばれ、ブラジルに渡った日本人の励ましとなったそうです。

2024年 **3** 月 **15** 日(金) ~ **5** 月 **17** 日(金)

入場無料

**10:00~16:00** (土曜日・日曜日・祝日閉館)

## 広島大学医学部医学資料館

広島大学霞キャンパス(大学病院前)

- |       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 主催    | 広島大学原爆放射線医科学研究所                   |
| 共催    | 放射線災害・医科学研究拠点(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学) |
| 特別協力  | 広島県医師会                            |
| 協力    | 広島大学医学部                           |
| 企画・製作 | 広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部       |